

平成25年度進行管理・評価シート
小田原市歴史的風致維持向上計画(平成23年6月8日認定)
(最終変更平成25年3月29日)

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 計画実施に向けた推進体制の強化	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 都市計画(地区計画の追加)と景観計画の活用	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 清閑亭保存整備活用事業	3
2 松永記念館整備活用事業	4
3 歴史的風致形成建造物等整備事業	5
4 史跡小田原城跡本丸・二の丸整備事業	6
5 八幡山古郭・総構整備事業	7
6 案内板等整備事業	8
7 小田原文学館整備活用事業	9
8 国道255号電線地中化事業	10
9 銀座・竹の花周辺地区における街なみ環境の向上	11
10 祭礼等保存継承事業	12
11 歴史的風致形成建造物等活用事業	13
12 地区まちづくりのための調査及び住民とのワークショップ	14
13 街かど博物館活用事業	15
14 なりわい交流館活用事業	16
15 伝統工芸品産業産地組合助成事業	17
16 小田原散策マップ等作成事業	18
17 レンタサイクル事業	19
18 民族芸能保存支援事業	20
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の修理(整備を含む)	21
2 文化財の防災	22
3 文化財の保存及び活用の普及・啓発	23
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 松永記念館を改修 など	24
⑥その他(様式1-6)	
1 官民協働した魅力ある観光地の再建・強化事業	25
2 近代の数寄屋等建築物の保全等を目的とする職人育成研修等の検討調査	26
3 歴史的風致に関する意識啓発	27

□法定協議会等におけるコメントシート(様式4)	28
-------------------------	----

評価軸①-1
組織体制

	評価対象年度	平成25年度
項目	現在の状況	

計画実施に向けた推進体制の強化

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容
 計画変更や事業実施に係る懸案事項については、「小田原市歴史まちづくり協議会」において協議し、推進にあたる。
 行政内部の進捗管理を行うため「小田原市歴史的風致維持向上計画推進会議」を組織し、都市整備・景観・文化財・観光等の分野が横断的かつ効果的な取り組みが行える仕組みとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・小田原市歴史まちづくり協議会を年2回開催した。
 H25.3市長の諮問に応じ調査審議し、意見を具申する附属機関として条例改正を行った。協議会委員は非常勤特別職となった。
 第1回の協議会では委嘱状交付式を行い、市長と協議会委員と直接の意見交換も行った。
 ・小田原市歴史的風致維持向上計画推進会議を年2回開催した。
 別に、事務局である都市計画課と計画に位置付けている事業所管課で事業内容のヒアリングや次年度予算等の調整会議を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○小田原市歴史まちづくり協議会



第1回 委嘱式の様子



第2回 協議会の様子

- 第1回(平成25年5月23日開催)
 ・委嘱式・会長及び副会長の選出・「小田原市歴史的風致維持向上計画」の進捗について
 ・市長との意見交換(小田原城への眺望の確保、歴史的風致に関する研修等の実施、民間事業に対する助成について)・歴史的風致維持向上推進等調査について
- 第2回(平成26年1月24日開催)
 ・「小田原市歴史的風致維持向上計画」の進捗について
 ・「小田原市歴史的風致維持向上計画」の軽微な変更について
 ・歴史的風致維持向上推進等調査について

○小田原市歴史的風致維持向上計画推進会議



第2回 推進会議の様子



次年度予算等の調整会議の様子

- 第1回(平成25年4月26日開催)
 ・「小田原市歴史的風致維持向上計画」の進捗及び予定について
 ・平成25年度の課題について(歴史的風致形成建造物指定候補の指定について、小田原用水や石垣等の管理・保存について)
 ・歴史的風致維持向上推進等調査の実施報告について
- 第2回(平成25年11月26日開催)
 ・「小田原市歴史的風致維持向上計画」に係る事業の進捗状況について
 ・歴史的風致形成建造物の指定について
 ・事業化されていないものの検討について(小田原用水及び石垣)
 ・歴まち通信の発行について
 ・歴史的風致維持向上推進等調査の中間報告について
- 事業内容のヒアリング(平成25年7月29日、8月1・2・7日に実施)
 - 次年度予算等の調整会議(平成25年11月26日推進会議終了後に実施)

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成25年度 現在の状況
都市計画(地区計画の追加)と景観計画の活用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 重点区域はすべて都市計画区域内であり、今後とも都市計画制度等を積極的に活用し、重点区域として相応しい良好な市街地環境の形成を進める。
 また、景観計画に示された景観形成方針と類型別・構造別の方針に配慮すべき区域内に含まれるほか、3つの拠点型重点区域を含むため、これら景観施策と積極的な連携を図ることとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・小田原城遺構である八幡山古郭内に位置する丘陵地であり、石積みや樹木を配し、周辺環境と調和した緑豊かで閑静な住宅地を形成している「緑城山地区」を新たに決定した。あわせて景観法で定める条例(小田原市形態意匠条例)を適用することで、より実効性を担保するものとした。

・平成18年に策定した「小田原市景観計画」に基づき、良好な景観形成のための規制誘導を行った。

・平成21年に施行した「小田原市屋外広告物条例」に基づき、良好な景観形成のための規制誘導を行った。(色彩規制有)

【定量的数値】

拠点型重点区域別の景観届出件数

H25 小田原城周辺地区 12件、小田原駅周辺地区 9件、国道1号・南町地区 9件 計 30件

拠点型重点区域別の許可済み屋外広告物数

H25 小田原城周辺地区 8件、小田原駅周辺地区 150件、国道1号・南町地区 31件 計 189件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

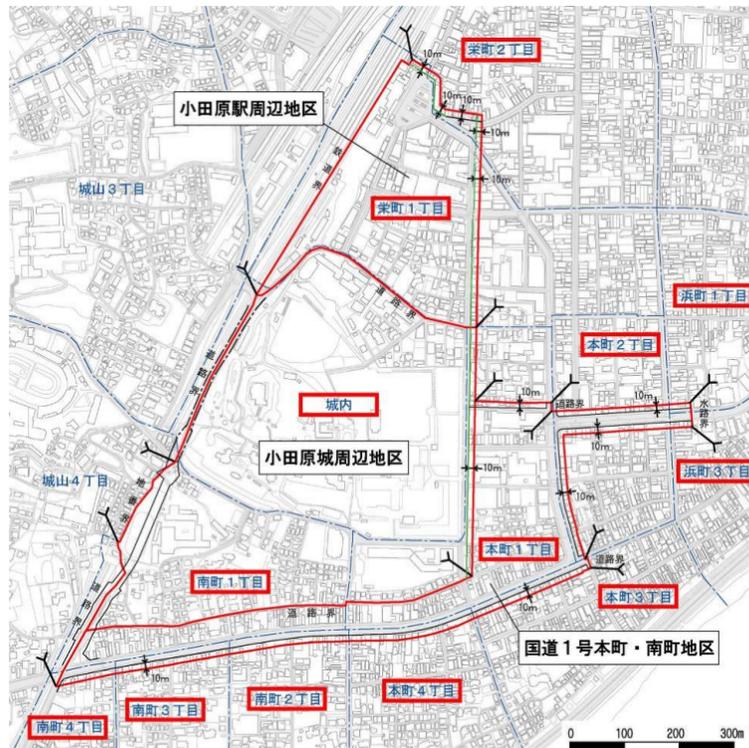
○緑城山地区地区計画



制限内容

・建築物の用途、最低敷地面積、高さ、建築物及び工作物の形態意匠、垣又はさくの構造について制限を設けている。

○本計画における重点区域内の景観計画上の3つの拠点型重点区域



※左の景観計画上の重点区域において、屋外広告物条例により、広告物の地の色彩に一定の基準を設けており、新規及び継続の許可手続きの際、確認を行っている。

※本計画の重点区域は、左の景観計画上の重点区域より広く、景観の重点区域以外では、景観の届出は、一定規模以上のものに限っている。
 このため、届出対象でないものについても、窓口等において、歴史的景観に寄与する意匠や色彩への誘導を行い、自主的な景観形成の取り組みを促している。

評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況	
清閑亭保存整備活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～平成32年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業、街なみ環境整備事業の効果促進事業)		
計画に記載している内容	登録有形文化財で、歴史的建造物である清閑亭は、建物の老朽化が著しいため、補修・修理を実施し、観光客・市民の憩いの場、旧別邸等を巡る回遊ネットワークの拠点、別邸文化を発信する施設として整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<保存整備> 雨樋・蔵・正門・東門・雨水排管・女性用便所改修工事、蔵の電気・空調設備工事、竹垣等設置工事を行った。 周辺散策路(藤棚付近)の整備改修工事も行った。 <活用> 民間団体の自由な発想を活かし、施設に関連したイベントやまちあるきを通年で実施した。 回遊性の拡大に向け、近隣の歴史的建造物(松永記念館、小田原文学館等)と連携したポスターの作成やスタンプラリー、情報発信及びイベントを実施し、利用者の増加が図られた。 【定量的評価】 平成24年度入館者 20,777人 事業数 113事業 参加者数 11,062人 平成25年度入館者 22,324人 事業数 102事業 参加者数 14,707人			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	基本的に建物等を常時活用しながら事業を行っていくため、改修工事、構造補強等工事については、活用を継続しながら段階的に行う必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
<保存整備> ○正門     ○塀 (竹穂垣及び建仁寺垣)   ○雨樋  ○蔵  ○周辺散策路  ○3館連携ポスター ・市民等から公募した写真を使用し、清閑亭、松永記念館、小田原文学館の回遊性を高めるポスターを作成。 			
<活用> ○講演会  ○クラシックコンサート  ○建物内ガイド 			

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度 現在の状況
松永記念館整備活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～平成32年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業、街なみ環境整備事業の効果促進事業)

計画に記載している内容 昭和前期に建てられた歴史的建造物である松永記念館の敷地内に所在する歴史的建造物の修理及び庭園の修景整備等を一体的に実施し、観光客・市民の憩いの場、回遊ルートの拠点とする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で
 ・平成25年度は、松永記念館老樺荘・葉雨庵改修整備等工事を実施。この内、茶室「葉雨庵」周辺の浸透排水設備、隣接する附属棟「烏葉亭」との連絡通路の整備の後、「葉雨庵」「老樺荘」建物本体の木部・外壁等および土塀の修復、「老樺荘」木戸口の靴脱ぎ場や竹垣の設置を行うとともに、被覆燻蒸による建物の害虫駆除等の実施により、利便性が向上するとともに保存・活用の両面で効果があった。
 また、本館のバルコニー及び地盤の強度調査と、これを踏まえた本館・収蔵庫・別館改修等の実施設計を行い、加えて別館の空調配管設備の更新、庭園内樹木の樹勢回復などを実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

■葉雨庵周辺浸透排水工事 左:葉雨庵 右:烏葉亭



施工前



施工状況

■葉雨庵と附属棟の連絡通路設置 左:葉雨庵 右:烏葉亭



施工前



施工後

■葉雨庵 外壁修復



施工前



施工後

■老樺荘 外壁修復



施工前



施工後

■老樺荘 土塀修復



施工前



施工後

■老樺荘 木戸口靴脱ぎ場付設



施工前



施工後

■老樺荘竹垣設置



施工前



施工後

■バルコニー・地盤強度調査



地盤調査状況

■老樺荘・葉雨庵害虫駆除



老樺荘建物 被覆燻蒸状況

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成25年度 現在の状況
歴史的風致形成建造物等整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成25年度～平成32年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	重点区域内にある歴史的建造物を対象に、歴史的風致形成建造物に指定し、建造物の修理・修景に対する助成を行うとともに、定期的に一般に公開する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
計画に位置付けた16件の民間所有の歴史的風致形成建造物指定候補の歴史的風致形成建造物への指定に向けて、所有者への意向確認や助成制度の確立に向けた検討を行った。指定後の活用方法など広く情報収集しながら検討を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○民間所有の歴史的風致形成建造物指定候補一覧			
濟生堂薬局 小西本店店舗		<ul style="list-style-type: none"> ●登録有形文化財 ◆街かど博物館 	
だるま料理店 主屋		<ul style="list-style-type: none"> ●登録有形文化財 ○建造物見学会 ○銀座・竹の花街づくり地区内 	
山月 (旧共寿亭)		<ul style="list-style-type: none"> ●登録有形文化財 ★小田原ゆかりの優れた建造物 ○建造物見学会× 	
籠清			
籠常		◆街かど博物館	
丸う田代		◆街かど博物館	
旧鈴廣本町店			
石川漆器		◆街かど博物館	
江嶋		<ul style="list-style-type: none"> ◆街かど博物館 ○銀座・竹の花街づくり地区内 	
欄干橋ちんりう		◆街かど博物館	
広瀬畳店			
下田豆腐店		◆街かど博物館	
内野家住宅			<ul style="list-style-type: none"> ○地域住民等によるイベント開催 ○H24 歴史的調査による活用実証
津田家蔵			
古稀庵			<ul style="list-style-type: none"> ○建造物見学会 ○毎週日曜有料で公開中
松永記念館 (無住庵)			※ <u>無住庵</u> については、松永記念館敷地内への移築の目途がたった段階で指定を行う

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度
	現在の状況	

史跡小田原城跡本丸・二の丸整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-------------------	---

事業期間 平成23年度～平成32年度

支援事業名 国宝重要文化財等保全整備費補助金

計画に記載している内容 「史跡小田原城跡本丸・二の丸整備基本構想」に基づき小田原城本丸・二の丸の史跡整備や回遊ルート整備を進め、市街地の歴史的環境の改善や本市固有の歴史的な景観の保全をする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成22年度に整備実施設計を策定した御用米曲輪について、平成24年度に引き続き、戦国時代の遺跡の広がり確認を主な目的として発掘調査を進めており、全国的にも例の無い構造を持つ「池」等を発見した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



発見された池の全景



発見された切石敷き遺構



発見された石組井戸

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成25年度
	項目	現在の状況

八幡山古郭・総構整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
--------------	---

事業期間 平成24年度～平成32年度

支援事業名 国宝重要文化財等保全整備費補助金

計画に記載している内容 小田原のまち割りを規定している戦国時代の文化遺産である史跡小田原城跡の八幡山古郭及び総構の整備や、史跡小田原城跡を説明するためのガイダンス施設の整備を順次行っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成22年度に策定した「史跡小田原城跡八幡山古郭・総構保存管理計画」に基づき、全体の整備計画を策定していく必要があるが、その策定には至っていない。平成25年度は、神奈川県教育委員会が県立小田原高等学校に整備した、散策路の開放を行い、市で管理を行うこととなった。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後、全体の整備計画策定を早急に行う必要がある。
--	--------------------------

状況を示す写真や資料等



開放した散策路



開放した散策路(ポケットパーク)

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度 現在の状況
案内板等整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年度～平成29年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 歴史的建造物等について、案内板や情報板の新設、更新を実施する。市民や来訪者が建造物等への理解を深めることができるとともに、歴史的風致の拠点を巡る回遊性の高いネットワークが形成される。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

邸園まち歩き案内板を3基設置した。(閑院宮御別邸跡、御幸の浜、御用邸跡)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

設置場所(民地)によっては、設置の承諾を受けるのが難しい場所がある。

状況を示す写真や資料等

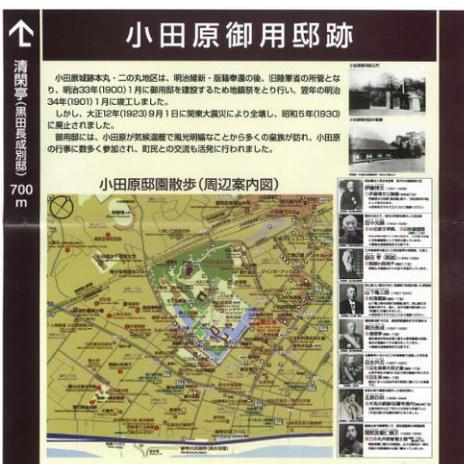
○仕様と設置場所(写真)



閑院宮御別邸跡



御幸の浜



小田原御用邸跡

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度 現在の状況
小田原文学館整備活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～平成28年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業、街なみ環境整備事業の効果促進事業)

計画に記載している内容 登録有形文化財である小田原文学館(本館・別館)は、屋根の改修を実施するとともに、周辺の歩行者空間の整備等と併せて、施設内に新たな便益施設を整備し、まちなかを回遊する際の休憩施設としての機能を付加する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

小田原文学館本館及び別館の改修計画作成及びそれに伴う改修工事を実施するための、建物調査と測量調査を行った。小田原市土地開発公社の所有であった小田原文学館別館(白秋童謡館)の敷地及び建物を購入した。小田原文学館本館から相模湾を望む眺望の確保や庭園の美観及び樹木の生育環境を高めるため庭園整備を行った。小田原文学館で紹介している出身・ゆかりの文学者や作品を紹介する西海子サロンを開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

市道0017【西海子通り】

市道2027

市道2028

市道2017

小田原文学館本館

白秋童謡館

建物調査・・・
 測量調査・・・
 土地購入・・・
 庭園整備・・・

【庭園整備】

【西海子サロン開催風景】

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	平成25年度
--------	--------

項目	現在の状況
----	-------

国道255号電線地中化事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
---------------	---

事業期間	平成22年度～平成25年度
------	---------------

支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(道路事業(基幹事業))
-------	---------------------------

計画に記載している内容	国道255号電線類地中化全体計画のうち、旧甲州道に位置する銀座・竹の花周辺地区において、電線類地中化を行い、歴史文化やなりわいの感じられるまちなみ景観の形成を促進する。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

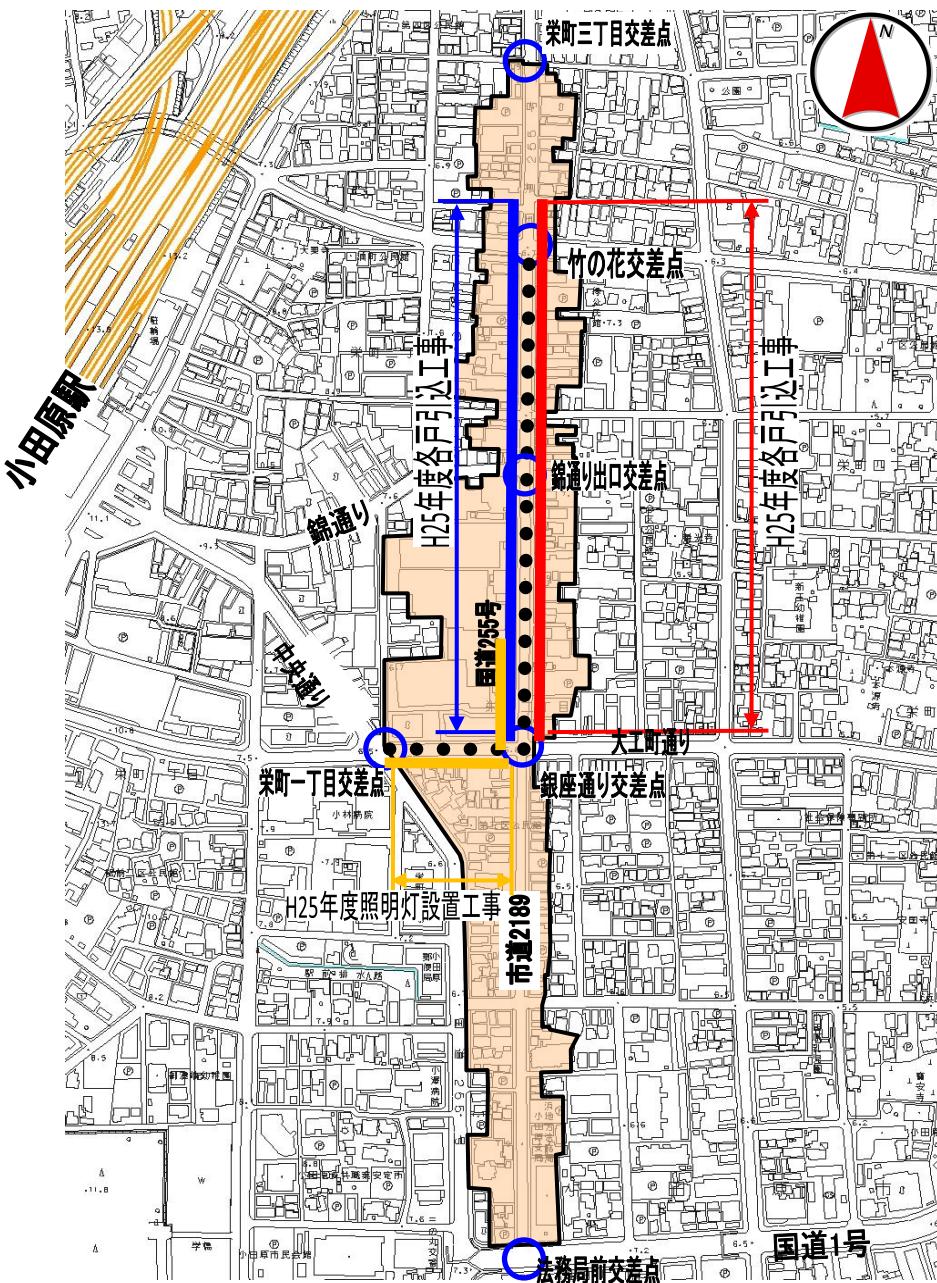
アーケードが撤去され、道路空間に広がりが見え、見通しがよくなったため、沿道の建物の修景に対する気運が高まった。

- ・平成23～24年度 アーケード撤去工事を実施
- ・平成23～24年度 水道管・ガス管移設工事を実施
- ・平成24年度 栄町一丁目交差点～銀座通り交差点間(両側) 各戸引込管工事を実施
- ・平成24年度 銀座通り交差点～竹の花交差点付近間(東側) 電線共同溝工事を実施
- ・平成25年度 銀座通り交差点～竹の花交差点付近間(両側) 各戸引込管工事を実施
- ・平成25年度 栄町一丁目交差点～銀座通り交差点付近間(西側) 照明灯工事を実施

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	照明灯工事とともに、街路樹の設置位置や、歩道のデザイン等、地元調整を充分行い、要望に沿った、景観上望ましいものに誘導していく必要があるため、平成28年度まで事業期間を延長する必要がある。
--	---

状況を示す写真や資料等



デザイン照明灯

※アーケードが撤去され、歩道が明るくなるとともに、建物のファサード修景も進む。デザイン照明灯の設置も進む。

評価軸③-9 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況	
銀座・竹の花周辺地区における街なみ環境の向上		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～平成32年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	旧甲州道沿いに位置する銀座・竹の花周辺地区において、地区街づくり基準に基づく景観修景への助成、歩道修景、案内板の設置等を行い、歴史文化やなりわいの感じられるまちなみ景観の形成を促進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
修景事業により、調和のとれた良好な街なみ景観の形成が進んでいる。 ・平成25年度:4件の店舗等の修景(外装の改修・外壁格子の設置)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	修景事業について、予定通りの進捗が図れるよう、市と業者が常に情報を共有し、円滑に実施出来るよう誘導していく。		
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度 現在の状況
祭礼等保存継承事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～平成27年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 祭礼等の伝統文化の継承に必要な道具の更新を行い、歴史的風致を形成している活動の継続を図るとともに、それらの活動のPR等をする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・無形民俗文化財となっている民俗芸能団体が出演する地域の祭礼や学校の農業体験学習の出演している田植歌保存団体の活動などをPRすることで、市民等に対し地域の民俗芸能の大切さについて啓発を図ることができた。
- ・小田原ちょうちん夏まつりを実施し、市内の自治会神輿によるパレードを実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



「根府川寺山神社の鹿島踊り」
(平成25年7月14日)



「栢山田植歌」
(平成25年6月5日)
※報徳小水稻栽培体験学習に出演



「小田原ちょうちん夏まつり」
(平成25年7月20・21日)
※自治会みこしパレードは、7月20日に実施

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成25年度
項目	現在の状況	
歴史的風致形成建造物等活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～平成32年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史的風致形成建造物に指定された建造物等を定期的に一般公開するため、事業運営する支援法人等に支援し、建造物の回遊、交流拠点としての機能を高める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

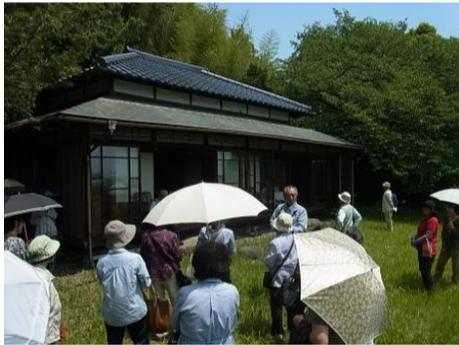
- ・登録有形文化財や小田原ゆかりの優れた建造物などについて、所有者の協力をいただき、春と秋の年2回公開した。
- ・板橋周辺の歴史的建造物を中心に、全4走の歴史的建造物リレーを実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



文化財建造物春の見学会(諸戸邸)
(平成25年5月22日～23日)



文化財建造物春の見学会
(松永記念館老樺荘)



文化財建造物秋の観覧会(岩瀬邸)
(平成25年11月10日)



文化財建造物秋の観覧会(静山荘)
(平成25年11月10日)



宝金剛寺秋の文化財公開(住職の話)
(平成25年11月9日～10日)

近代政財界の重鎮らが別邸を構えた特色ある地域である市内の板橋や隣接する南町周辺に点在する歴史的建造物等の価値や魅力、所縁の人物に関わる事績や今後の活用に向けた取組み等を、建築や意匠、旧邸主とゆかりの人物等に関する講演や史跡散策などからリレー形式で紹介する事業が「板橋周辺 歴史的建造物リレー」である。

第1走「建築としての内野邸」では、内野邸の建築としての魅力を調査成果に関する講演や施設見学から紹介した。第2走「子ども華道はじめ」では、児童・生徒を対象に歴史的建造物を活用して華道の体験講座を実施し、作品を展示公開した。第3走「伊藤博文と別邸」では、かつて市内に「滄浪閣」を構えていた伊藤博文と関連建築について講演や史跡散策から取り上げた。第4走「幻庵・野崎廣太と小田原」では、かつて市内に別邸「自怡荘」や「安閑草舎」を営んだ野崎廣太について、講演や史跡散策、ゆかりのメニューによる食事やお茶から紹介する。



9月29日リレー第1走



11月9日リレー第2走

12月15日リレー第3走

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度 現在の状況
地区まちづくりのための調査及び住民とのワークショップ		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～平成25年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史的風致が色濃く残る板橋地区やかまぼこ通り地区において、歴史的環境にあった街なみ形成や景観に配慮したまちづくりの推進に向け、景観調査、住民とのワークショップによるルールづくり、協議会への組織化等の支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・板橋地区においては、内野家住宅の活用を中心に自主的組織が立ち上がり活動を継続している。
 ・かまぼこ通り地区においては、地元かまぼこ組合傘下の団体等と活用方法や街なか居住策などの取り組みを進めている。
 ・両地区ともに、地区全体の目指す姿などの景観調査を実施しつつ、地元住民の意向を踏まえながら取り組みの方策を検討した。

進捗状況 ※計画年次との対応

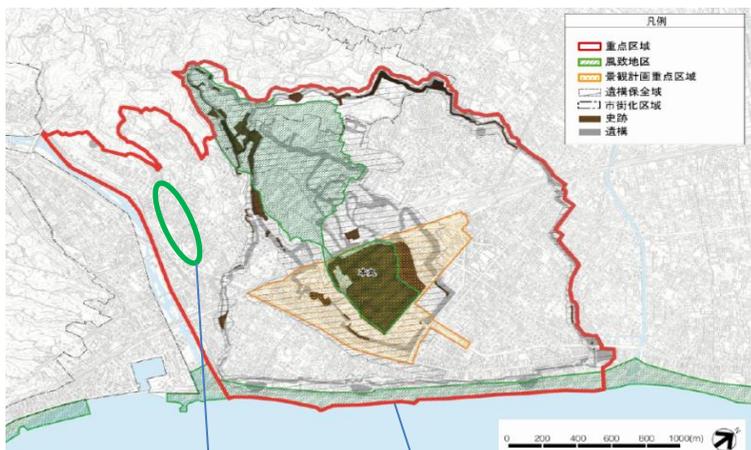
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

自治会を中心とした地域コミュニティ推進事業や街づくりルール改革計画と連携して、住民のワークショップによるルールづくり、協議会への組織化等の支援をしていくため、平成28年度まで事業年度を延長する必要がある。

状況を示す写真や資料等

○板橋地区



板橋地区

重点区域



古稀庵門付近



小田原用水

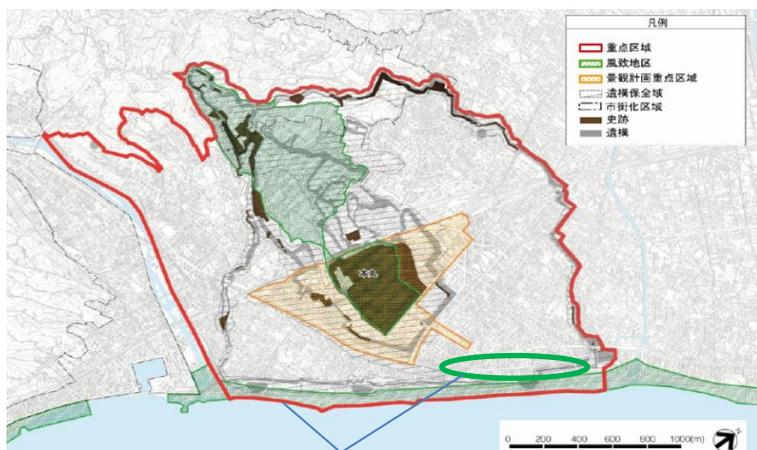


板橋地藏堂前



内野家住宅付近

○かまぼこ通り地区



かまぼこ通り地区

重点区域



通り全景



旧鈴廣本町店付近



籠清店舗付近



丸う田代店舗付近

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成25年度 現在の状況
街かど博物館活用事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成23年度～平成32年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	小田原に古くから栄えた地場産業を営む店舗等を一般公開する「街かど博物館」において、訪れる人々に街の歴史や魅力を知ってもらう体験プログラムなど運営を支援することにより、伝統文化の伝承への意識が高まる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・街かど博物館体験ツアー 平成25年度 3回開催 (参加人数第1回 15人、第2回 11人、第3回 12人) ・街かど博物館館長連絡協議会 平成25年度 3回開催			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○街かど博物館体験ツアー 第1回 平成25年4月9日(火) 第2回 平成25年6月15日(土) 第3回 平成25年9月18日(水)			
			
ひもの体験館(カネタ前田商店)		早川駅(集合場所)	
			
寄木ギャラリー(露木木工所)		寄木コースターの製作体験	
○街かど博物館館長連絡協議会 (場所:小田原宿なりわい交流館にて)			
第1回(通算第42回) 平成25年5月8日(水)開催 ・平成24年度収支決算について ・平成25年度収支予算、事業計画について			
第2回(通算第43回) 平成25年9月25日(水)開催 ・パズルラリーの実施について ・ガイドマップ作成について			
第3回(通算第44回) 平成26年1月27日(月)開催 ・パズルラリーの実施について ・平成26年度街かど博物館について			

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度 現在の状況
なりわい交流館活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～平成32年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 なりわい交流館において、小田原の地場産業の情報発信や生涯学習等の各種イベントの会場として、市民や観光客が交流する場を提供することにより、本市の歴史と伝統への認識が高まる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

開館より11年が経つが、利用者数は安定した数値で推移しており、旧東海道小田原宿の拠点施設として、市民・観光客の中で定着した施設となっている。

市民・観光客の中心市街地回遊のお休み処として年間来館者数:平成25年度 23,473人(364日開館)

地場産業の情報発信の場として伝統工芸品展の開催:年間2回(平成25年度 来場者数:夏337人、秋308人)

生涯学習等の各種イベント会場としての機能として利用団体数:平成25年度 93団体

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



施設外観

【小田原宿なりわい交流館機能】

観光案内や休憩のために立ち寄っていただくことにより、建物自体の持つ古い旅籠の雰囲気や、展示物の生業(なりわい)に関する資料に触れて頂くことにより、歴史と伝統への認識を高めている。

<2階>
イベント
スペース



<1階>
観光案内
お休み処



イベントスペースでは一般団体の展示等も行われている
※写真右は木工業の若手による展示



【小田原の伝統工芸品展】

市内外の方に伝統工芸品の魅力を体感する機会を設けること、地場産業関係者には興味を持つ客層のリサーチの場として業界の振興を図ることを目的に伝統工芸品展を開催している。

<夏>

平成25年7月19日(金)～21日(日)

小田原漆器、神奈川県工芸産業振興協会により、小田原箱根地域において考案保護を受けている木製品をはじめ、小田原提灯などの工芸品を展示。

体験では、からくりパズルの製作体験を実施

<秋>

平成25年11月15日(金)～17日(日)

小田原木工芸組合の協力により、豆茶器、木象嵌をはじめとした小田原木製品の展示。

体験では、木工キットの組み立て体験を実施



評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度 現在の状況
伝統的工芸品産業産地組合助成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～平成32年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 中世より続く小田原漆器などの伝統的工芸品を担う産地団体が行う振興事業へ助成し、担い手の育成や伝統技術の継承を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

伝統小田原漆器協同組合、小田原箱根伝統寄木協同組合が行う「伝統的工芸品産業の振興に関する法律」に基づいた振興事業に対し、助成を行った。助成の対象事業には、従事者・後継者育成事業、販路開拓事業があり、担い手の育成や伝統技術の継承に寄与した。

中でも、小田原箱根伝統寄木協同組合については、平成23年度から24年度にかけて独立し工房を構えるようになった若手職人が、平成25年4月より組合に加入し、組合員が増員した。(平成24年度末14人⇒平成25年度16人)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

組合による従事者・後継者育成事業



組合による販路開拓事業



評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度 現在の状況
小田原散策マップ等作成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～平成32年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史的な街なみ・施設等の案内、史実等のストーリー・回遊ルート等の紹介のための散策マップを作成し、点する歴史的資源等の回遊を促進し、市民や来街者が歴史的風致に触れる機会が増え、関心が高まる。

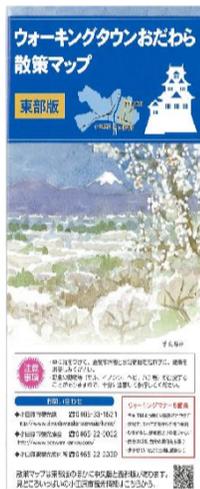
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

おだわら散策マップ(東部版)を作成した。
(A3判、両面印刷、4色カラー、2つ折りを巻き3つ折り、30,000部)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	毎年、ウォーキングコースに設置した道標や案内板などの設置状況を調査した上で、散策マップの作成に当たっている。

状況を示す写真や資料等

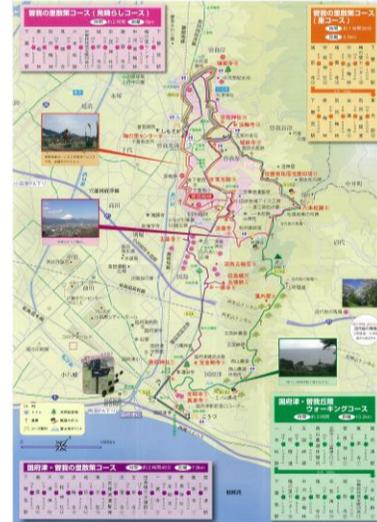
○おだわら散策マップ(東部版)



表紙



A3 表



A3 裏

○おだわら散策マップ全体のエリア



西部版

中央版

東部版

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度 現在の状況
レンタサイクル事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～平成32年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 レンタサイクルの拠点を増やすことにより、旧城下やその周辺に点在する歴史的資源をより容易に巡ることが可能になり、市民や来街者が歴史的風致に触れる機会が増え、関心が高まる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

例年と同水準の利用をいただき、順調に事業を実施できた。

平成23年度貸出実績:1,693台

平成24年度貸出実績:1,786台

平成25年度貸出実績:1,768台

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

利用の頻度の高いシーズンとそうでないシーズンがはっきりしている。また、天候の影響も大きい。

状況を示す写真や資料等

自転車台数:20台
利用料金:1回300円



レンタサイクル

発見いろいろ！探してみよう！城下町おたわら。

実施主体 NPO法人小田原ガイド協会、小田原市観光課 (0465-33-1521) 協力 神奈川県自転車協同組合小田原支部、小田原市観光協会

パンフレット

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成25年度
項目	現在の状況	
民俗芸能保存支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～平成32年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史的風致を構成する民俗芸能は、中心市街地の若年層の減少により、次世代の担い手不足が懸念されているため、保存活動団体に対し、普及啓発や保存の取り組みを支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

小田原民俗芸能保存協会は、市内に残る民俗芸能団体により構成され、民俗芸能の保護・育成に努め、例年、秋には協会構成団体が一堂に会し、日頃の練習成果を発表する後継者育成発表会を開催している。平成25年度は協会創立40周年であり、加盟団体以外からも特別出演2団体を招待し、平成25年11月2日(土)に記念大会を開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	団体間のより一層の相互交流の場とするとともに、市民等に対し民俗芸能の普及を図ることができた。

状況を示す写真や資料等



開会式



相模里神楽垣澤社中



小田原祭囃子連絡協議会



栢山田植歌保存会



小田原ちouchin踊り保存会



曾我別所寿獅子舞保存会



山王原大漁木遣唄保存会



根府川鹿島踊保存会



足柄ささら踊り保存会



小田原囃子多古保存会



相模人形芝居下中座



閉会式

広報 小田原 おだわらいふ 2013 OCTOBER 15日号

10月号

11月2日(土) 12:00~16:00 (開場11:30) けやきホール

古くから地域の人々が守り伝えてきた民俗芸能。それらが一堂に会し、日頃の練習の成果を発表します。40周年という節目を迎えた今回は、協会加盟団体以外の団体を招待した記念大会となります。

文化財課 ☎ 33-1717

出演団体

- 小田原市山王原大漁木遣唄保存会
- 曾我別所獅子舞保存会
- 栢山田植歌保存会
- 相模里神楽垣澤社中
- 相模人形芝居下中座
- 小田原祭囃子連絡協議会
- 足柄ささら踊り保存会(南足柄市より参加)
- 相模里神楽垣澤社中(原木市より参加)

広報おだわら「おだわらいふ」10月15日号表紙へ掲載

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度 現在の状況
文化財の修理(整備を含む)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 文化財の修理及び整備にあたっては、文化財の価値を損なうことなく適切な保存を図る必要があるため、詳細な調査を行い、履歴に基づいた修理及び整備を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

登録有形文化財である清閑亭を、平成23年度に策定した改修計画に基づき、雨樋、蔵などの改修を行った。(P.3参照)
 史跡小田原城跡御用米曲輪において、発掘調査を進めた。(P.6参照)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



清閑亭



御用米曲輪

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度 現在の状況
文化財の防災		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 日常から文化財の防災に対する意識を向上させるため、所有者・管理者・地域住民・消防が一体となった防災訓練を定期的実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

1月26日の「文化財防火デー」の近辺で、市内の文化財に係る避難誘導・消火活動などの消防訓練、消防による設備点検や防火指導を実施するとともに、広報誌等で文化財防火についての啓発を呼びかける。平成25年度は、平成26年1月22日に県指定文化財「二宮尊徳生家」の消防訓練を行うとともに、1月22日から23日にかけて9か所の文化財所有者を消防・文化財課が訪問し、設備点検・防火指導を実施した。

消防訓練や防火指導、啓発記事の掲載などにより、文化財所有者・管理者・市民に対し、文化財愛護に関する意識の普及・文化財防火・防災意識の高揚が図られた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

消防訓練

(平成26年1月22日 二宮尊徳生家)



設備点検・防火指導

(平成26年1月22日 尊徳記念館)



評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度 現在の状況
文化財の保存・活用の普及及び啓発		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 文化財を積極的に公開することにより、誰もが気軽に歴史的風致に触れることができる環境づくりを推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「文化財公開事業」として、埋蔵文化財の出土品展や遺跡調査発表会、遺跡見学会、また、文化財建造物や指定文化財の公開などの事業を開催した。さらに、史跡小田原城跡の発掘調査において新規の発見があったため臨時の市民見学説明会も開催した。

次世代を担う子どもたちにも興味・関心を持ってもらうため、文化財公開事業について、校長会で取り上げてもらうとともに、併せてチラシ等の配布も行い、小中学校への情報提供と子どもたちへの学習機会を提供した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



文化財建造物春の見学会(諸戸邸)
(平成25年5月22日～23日)
参加者数45名



文化財建造物秋の観覧会(岩瀬邸)
(平成25年11月10日)
来場者数238名



宝金剛寺秋の文化財公開(住職の話)
(平成25年11月9日～10日)
来場者数123名



最新出土品展
(平成25年11月9日～24日)
来場者数832名



遺跡調査発表会
(平成25年11月24日)
来場者数169名



遺跡見学会
(平成26年3月30日)
参加者数42名

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
老櫓荘の土塀、大雨で崩れる 建物は国の有形文化財	平成25年4月17日	神奈川新聞
松永記念館の改修整備、市が本格化へ	平成25年8月3日	神奈川新聞
木工技術受け継いで 職人学校講座スタート	平成25年9月3日	神奈川新聞
【社説】小田原職人学校 建造物保存の担い手に	平成25年9月14日	神奈川新聞
小田原市 松永記念館を改修 補正案に実施設計費 議決待ち早々発注	平成25年9月18日	建通新聞（建設業界紙）
「お城以外」魅力紹介 宿場町の産業や邸園巡り、早川漁港	平成25年10月4日	神奈川新聞
小田原城跡「御用米曲輪」発掘調査 戦国の「池の跡」確認 ほか	平成25年10月8日ほか	毎日新聞・朝日新聞・読売新聞・神奈川新聞ほか
小田原市 松永記念館を改修 建文に設計委託	平成25年10月30日	建通新聞（建設業界紙）
小田原民俗芸能保存協会創立40周年記念民俗芸能大会	平成25年11月1日	ポスト広告（地域情報紙）
(全国版)【文化】北条氏庭園 高度な文化 ■「池の遺構」発見	平成25年11月13日	読売新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

松永記念館整備活用事業(P.4)、史跡小田原城本丸・二の丸整備事業(P.6)、民俗芸能保存支援事業(P.20)、官民連携した魅力ある観光地の再建・強化事業(P.25)、近代の数寄屋等建築物の保全等を目的とする職人育成研修等の検討調査(P.26)について、適宜報道された。特に、史跡小田原城本丸・二の丸整備事業(P.6)における池の遺構発見については、全国紙や全国版(特集記事)にて大きく取り上げられた。行政側からも、事業実施時には、積極的に情報発信するよう努めた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

松永記念館めぐり小田原市 改修整備本格化へ

小田原市から、歴史的建造物が残る「松永記念館」(同市板橋)の改修整備を本格的にスタートさせる。事業の進捗が確認されたが、歴史の風情を保持しながら「社説」の定意を踏まえて、早急な対応が求められる。2020年度から13年度にわたって実施される見込みだ。

同記念館は、「電力王」と称され茶室も造詣が深い板橋地区などが重点的だった。改修整備は、松永安立の門前敷地、移り住んだ建物と土塀がある。没後、市に売却され、一部が市が購入、公開されている。主な施設は、記念館の本館・別館のほか、国登録有形文化財に指定されている「老櫓荘」と「御用米曲輪」。日本の歴史を100年たっている日本庭園もある。11月に認定された同記念館は、旧築道に面した。



改修工事がスタートする松永記念館＝小田原市板橋

北条氏庭園 高度な文化

小田原城跡(小田原市)と八王子城(東京都八王子市)の遺構で、戦国時代の遺構が明らかになった。池の跡と、土塀の遺構が確認された。池の跡は、池の跡と、土塀の遺構が確認された。池の跡は、池の跡と、土塀の遺構が確認された。

池の遺構発見

小田原城跡(小田原市)と八王子城(東京都八王子市)の遺構で、戦国時代の遺構が明らかになった。池の跡と、土塀の遺構が確認された。池の跡は、池の跡と、土塀の遺構が確認された。

小田原城跡 石塔の部材を利用

小田原城跡(小田原市)と八王子城(東京都八王子市)の遺構で、戦国時代の遺構が明らかになった。池の跡と、土塀の遺構が確認された。池の跡は、池の跡と、土塀の遺構が確認された。

八王子城 背後の山を借景に

小田原城跡(小田原市)と八王子城(東京都八王子市)の遺構で、戦国時代の遺構が明らかになった。池の跡と、土塀の遺構が確認された。池の跡は、池の跡と、土塀の遺構が確認された。

○平成25年11月13日付 読売新聞

「お城以外」魅力紹介

小田原観光ツアー

宿場町の産業や邸園巡り、早川漁港

小田原市は、市内に多くの歴史的建造物の保存を促すと、本職人の育成を目指す取り組みを進めた。旧板橋地区をめぐり、歴史を研究し、職人の育成を目指す。旧板橋地区をめぐり、歴史を研究し、職人の育成を目指す。

○平成25年8月3日付 神奈川新聞

木工技術受け継いで

歴史的建造物保存活用へ 職人学校講座スタート

小田原市は、市内に多くの歴史的建造物の保存を促すと、本職人の育成を目指す取り組みを進めた。旧板橋地区をめぐり、歴史を研究し、職人の育成を目指す。旧板橋地区をめぐり、歴史を研究し、職人の育成を目指す。

○平成25年9月3日付 神奈川新聞

民俗芸能大会

小田原民俗芸能保存協会創立40周年記念

明日11月2日、小田原市で「民俗芸能大会」が開催される。小田原市で「民俗芸能大会」が開催される。小田原市で「民俗芸能大会」が開催される。

○平成25年11月1日付 ポスト広告

民俗芸能大会

小田原民俗芸能保存協会創立40周年記念

明日11月2日、小田原市で「民俗芸能大会」が開催される。小田原市で「民俗芸能大会」が開催される。小田原市で「民俗芸能大会」が開催される。

○平成25年11月1日付 ポスト広告

評価軸⑥-1
その他

評価対象年度 平成25年度

項目

官民協働した魅力ある観光地の再建・強化事業

計画に記載している内容

市民や観光客の歴史的風致に対する理解と関心を高めるための市民の活動等を推進・支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

国の「官民協働した魅力ある観光地の再建・強化事業」において、市と観光関連団体が組織する「観光まちづくり推進懇話会」と旅行会社が協力し、「なりわい」と「邸園文化」を活かしたまちあるき観光モニターツアーやPR事業を実施した。
7月～8月 商品魅力度調査 サンプル数1652(WEB 1200、対面452)
9月～ インターネット予約サイト開設
9月28日 観光フォーラム「まちあるき観光と邸園の魅力」 120名参加、
11月30日 まちあるき観光ワークショップ 37名参加
9月27日～12月15日 まちあるき観光モニターツアー実施(3コース 合計108名参加)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり
■計画の進捗に影響なし

まちあるきコースのブラッシュアップと運営主体が課題
観光まちづくり推進懇話会で議論予定

状況を示す写真や資料等

まちあるき観光モニターツアー(インターネット申込)

まちあるき観光イメージキャラクター「梅丸」

小田原まち歩きモニター募集中!

官民協働した魅力ある観光地の再建・強化事業

小田原城下のなりわいと邸園を訪ねる上質な旅

(詳細及び旅行条件は<http://tabihatsu.jp/city-odawara/>にてご確認ください)

戦国北条氏が築き、東海道有数の城下町・宿場町として華やき、近代の政財界・文化人が愛した小田原。首都圏からも温泉地からも、ふらりと気楽に旅を味わえる、ほどよい距離感が魅力です。このプランでは、歴史ある城下町に息づく物語に、とっておきの体験をプラスして、小田原の知られざる魅力にみなさまをご案内します。

■小田原まち歩き 城下町・宿場町のなりわいを訪ねて
9/27日・10/7日・21日・11/11日・25日・12/2日 代金 お一人様 3,000円
※懐石弁当の昼食付き

【コース】小田原駅(10:00出発)～漆・うつわギャラリー(石川漆器)～かつおぶし博物館(龍常)～なりわい交流館～梅方資料館(榎干橋ちん里う)～ういろう・外郎博物館～箱根口門跡～旧黒田長成侯爵別邸「清閑亭」(12:30頃から昼食)
※現地解散(小田原城まで徒歩5分、小田原駅まで徒歩15分)

■小田原まち歩き 政財界人が愛した邸園を訪ねて
9/29日・10/13日・27日・11/24日・12/15日 代金 お一人様 3,200円
※懐石弁当の昼食付き

【コース】箱根板橋駅(10:00出発)～旧山縣有朋別邸「古稀庵」庭園(※入場見学)～松永記念館・老榎荘(見学)～小田原用水～掃雲台跡～対潮閣跡(秋山真之終焉の地)～旧黒田長成侯爵別邸「清閑亭」(12:30頃から昼食)
※現地解散(小田原城まで徒歩5分、小田原駅まで徒歩15分)

■小田原まち歩き 邸園めぐりと海の幸を味わう
10/3日・17日・11/7日・21日・12/5日 代金 お一人様 3,000円
※こぼれぐた寿司の昼食付き

【コース】小田原駅(10:00出発)～小田原城址公園(馬出門・御門)～旧黒田長成侯爵別邸「清閑亭」(見学)～対潮閣跡(秋山真之終焉の地)～旧田中光顯伯爵別邸「小田原文学館・白秋童謡館」(見学)～寄木ギャラリー(露木木工所)～小田原早川漁港(早川漁村)にて地魚と生シラスを盛り込んだ「こぼれぐた寿司」の昼食
※現地解散(早川駅まで徒歩5分)

※全コース小田原ガイドが同行します。



観光フォーラム【9月28日】 120名参加

まちあるき観光ワークショップ(11月30日) 37名参加

項目

近代の数寄屋等建築物の保全等を目的とする職人育成研修等の検討調査

計画に記載している内容
文化財の修理及び整備は、文化財の価値を損なうことなく適切な保存を図るため詳細な調査を行い、履歴に基づいた修理及び整備を実施する。
歴史的建造物の建築様式など、その特徴を顕著に示す意匠や装置の記録・保存・管理を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

国土交通省所管の歴史的風致維持向上等推進調査の一環として「他地域講師招致による数寄屋等建築技術の職人育成研修実施方策の実践的検討」を受託し、民間コーディネータを主体とし、①職人育成研修での活用を念頭に置いた市内建物調査(6件、8～11月)、②技術伝承地・職人育成研修に関する先進都市へのヒアリング調査(4件、9～10月)、③職人学校ワークショップ(6回、9～1月)、④車座集会(3回、12～3月)、⑤各種専門家・関係者等へのヒアリング調査(12件、11～3月)等を行った。①～⑤の成果を集約し、京都や金沢の先進事例とは異なり、行政が中核となって歴史的建造物の改修に必要な技術の伝承と職人の育成、これを踏まえた歴史的建造物の改修・整備及び活用の推進等を一体的に担う組織の設置・運営等を提案した。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり
■計画の進捗に影響なし
調査結果を踏まえ、今後、具体的な取り組みについて検討する必要がある。

状況を示す写真や資料等

① 建物調査

【対象物件】

- a白秋童謡館(旧田中光顕別邸)・・・南町所在／大正13年建築(登録有形文化財)
- b佐藤邸(旧小田原藩士居宅)・・・本町所在／昭和9年建築
- c岡田邸母屋(旧松本剛吉別邸)・・・南町所在／昭和初年建築
- d岡田邸茶室(同上) 南町所在・・・昭和初年建築
- e諸戸邸(旧諸戸精太郎邸)・・・国府津所在／大正6年頃建築
(小田原ゆかりの優れた建造物)
- f清閑亭(旧黒田長成別邸)・・・南町所在／明治36年建築 登録有形文化財

【主な調査項目】

建築年代・建築集団・使用部材・要修理箇所・改修の経緯・職人育成研修による教材としての活用の可否 など



上: 岡田邸母屋(玄関)
下: 佐藤邸(洋館玄関)

② 技術伝承地等調査

【調査先】

- a金沢市・金沢職人大学校
- b長野県建設労働組合連合会・信州職人学校
- c桑名市「六華園」等
- d京町家作事組

【主な調査項目】

職人育成研修組織の運営形態・手法・目的・課題、受講生の募集状況、受講料の設定



金沢職人学校実習等

右: ワークショップ左官編
実習風景
下: ワークショップ棟梁編
講義風景



③ 職人学校ワークショップ

【実施内容】

- 第1回 棟梁編 会場: 内野邸
- 第2回 左官編 会場: 清閑亭
- 第3回 建具編 会場: 諸戸邸
- 第4回 大工編 会場: 小田原木材流通センター等
- 第5回 棟梁編 ii 会場: 松長記念館烏薬亭
- 第6回 造園編 会場: 岡田邸

【カリキュラム内容】

講義・実技(実習)・実演・見学等

【受講料】

1,100円～2,500円の範囲で毎回異なる額で設定

④ 車座集会

【内容】

- 第1回 所有者中心の座談会／講師: 羽生修二(東海大学)／会場: 佐藤邸
- 第2回 職人中心の座談会／講師: 荒木正亘(京町家作事組)／会場: 岡田邸
- 第3回 金沢市と小田原市との対談／講師: 永井隆(金沢職人大学校)／会場: 清閑亭

⑤ ヒアリング調査

【対象】

- a専門家: 杉本洋文(東海大学)・後藤正巳(金沢工業大学)・水野雅男(法政大学)
- b職人組合: 小田原左官業組合・小田原庭園業組合・小田原大工職組合・神奈川県畳工業組合小田原支部・小田原建築板金工業組合 等

評価軸⑥-3
その他

評価対象年度 平成25年度

項目

歴史的風致に関する意識啓発

計画に記載している内容
行政内部において関係部局が協調して取り組むこととし、都市整備・景観・文化財・観光等の分野が横断的かつ効果的な取り組みを行う。
事業実施においては、事業担当課が関係団体や個人と連携し、国や県など協議しながら実施するものとする。
市民や観光客の歴史的風致に対する理解と関心を高めるための市民の活動等を推進・支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

歴史的風致に関する意識啓発のため、対象を市職員向けと市民向けに分けて取り組みを実施した。

(市職員向け)

- ・担当職員及び新任職員を対象に、研修(講座及び実地)を実施した。
- ・全職員を対象に「歴まち通信」(第1号～)を発行した。

(市民向け)

- ・平成25年度の市広報「広報小田原11月1日号」巻頭4ページで特集を組んだ。
- ・「キャンパスおたわら公開講座」にて、歴史講座を実施した。(50名受講)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

今後も広く歴史的風致に関する意識啓発のために、職員向けのものを継続しつつ、市民向けのものを増やしていく必要がある。

状況を示す写真や資料等

○歴史まちづくり研修 (平成25年7月30日実施 担当職員を対象 午前【講義】28名・午後【実地】17名参加)



【講義】小田原の歴史・板橋周辺



【実地】板橋周辺の歴史的風致



【実地】小田原木材住まいづくり

○まちあるき研修 (平成25年6月4日実施 経済部・文化部の
新任職員を対象 【実地】13名参加)



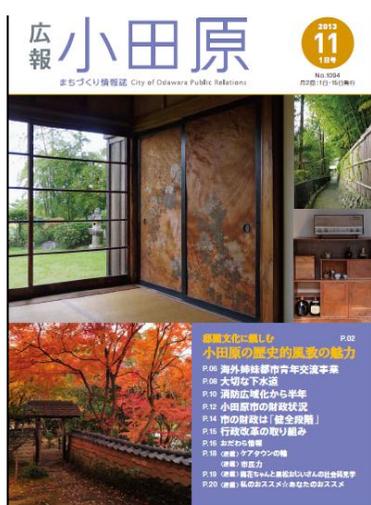
【実地】
板橋及びかまぼこ通り周辺を、
NPO法人小田原まちづくり応援団案内によるまちあるき研修

○歴まち通信の発行 (全職員を対象)



第1号
(平成25年12月)

○広報小田原11月1日号(市民を対象)



特集:小田原の歴史的風致の魅力



○講座「小田原城をめぐる戦国群像」(平成25年
9月21日実施 市民を対象 一般含253名参加)

キャンパスおたわら公開講座
「小田原城をめぐる戦国群像」

約百年にわたり難攻不落を誇った小田原城。北条五代の栄光の歴史を訪ねながら、戦国時代に活躍した数多くの名將の足跡をたどります。
(歴史講座「北条五代百年の“その時”」の公開講座として開催いたします。)

【講師】
静岡大学名誉教授 小和田哲男
【日程】
9月21日(土)14:00～16:00
【場所】
生涯学習センターけやきホール
【定員】
350人(多数抽選)



講師プロフィール 小和田哲男(静岡大学名誉教授)

1944年、静岡市生まれ。北条早雲や小田原北条氏研究の第一人者です。NHK「歴史秘話ヒストリア」の解説者として出演。大河ドラマでは、「秀吉」や「功名が辻」「天地人」に出演。2011年「江～除たちの戦国」で時代考証を務めています。小田原市では、小田原ふるさと大使、史跡小田原城跡調査・整備委員会委員長として活躍されています。



【申込方法】
日程が空き次第に講座名・平住所・氏名(ふりがな)・電話番号・居住の有無を明記し、生涯学習センターけやき(〒250-8555 小田原市萩原300番地)まで郵送してください。または生涯学習相談窓口(けやき2階)へ直接お申し込みください。(9月6日(金)必着)

※詳しい内容は、公民館などに配布されているチラシをご覧ください。
お問い合わせ:生涯学習センターけやき ☎33-1871

評価対象年度	平成25年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:平成25年度第2回小田原市歴史まちづくり協議会	
会議等の開催日時:平成26年1月24日(金)午前10時から (会場:小田原市役所6階601会議室)	
(コメントの概要)	
<p>■ 取り組み全般に対するコメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本計画に位置付けている事業が一覧表で見れること自体先進的でよい。 ・また、位置付けていない事業についても、関連する事業の一覧として情報収集しており、これらを参考に、行政や民間がそれぞれ連携できる部分を探り、事業を様々な角度から見直し、効果的に各事業が展開されると良い。 ・歴史まちづくりに対する意識啓発に取り組んでいるが、更に、各事業において、本計画に基づく歴史まちづくりの発信をして、3館連携事業や伝統工芸を取り入れた別邸でのイベントのような、組織横断的な取り組みをも進めていく。 <p>■ 進捗評価シートに対するコメント</p> <p>③-4 史跡小田原城跡本丸・二の丸整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・御用米曲輪の発掘調査で発見された「池」の遺構は、全国にも例のない貴重なものである。 ・歴史まちづくりの観点からも、非常に注目を集めているものなので、今後の整備については、単に史跡整備の観点だけではなく、歴史まちづくりとしての活用面など、産業や観光的な視点などを踏まえて検討するべきである。多角的な視点での検討が必要である。 ・ただし、遺跡自体の見せ方については、戦国時代(中世)の城と江戸時代(近世)の城が併存しているものはあまり例がないので、難しい部分がある。 <p>⑥-2 近代の数寄屋等建築物の保全等を目的とする職人育成研修等の検討調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職人技術の継承をするための職人学校のあり方については、単なる育成だけでなく、その後の活用方法(出口)も含め、実施主体や実施体制、各役割など検討していく必要がある。 ・特に、小田原市では、伝統技術の対象が少ないため、対象とする地域設定も重要である。 ・また、伝統工法による新築に対する需要も取り込む必要があり、重点地区内にて、小田原木材を使用した伝統工法の住まいづくりを進めるなど、他の取り組みと連携することが、歴史まちづくり法及び本計画の趣旨に沿うものである。 	
(今後の対応方針)	
<ul style="list-style-type: none"> ・各所管にて事業を行う際や見直しを行う際は、多角的な視点で取組めるよう、さらなる情報共有、意識啓発に努め、歴史まちづくり協議会や庁内推進会議等も活用しながら、各所管にて連携を図りながら進めるようにする。 ・担当職員だけでなく、市全体で連携が出来るよう、全職員向けにも引き続き周知をする。 ・あわせて市民向けの意識啓発も行い、民間に対する事業の促進が図れるようにする。 	